

事業名	ひきこもり者に対する包括的な支援
資金分配団体	NPO法人X
実行団体	

I. 評価スケジュール・実施体制

	事前評価	中間評価	事後評価	追跡評価
提出時期	2020年3月	2021年9月	2023年2～3月	2025年3月
実施体制	資金分配団体、実行団体のスタッフ 外部協力者(研究者、自治体職員等) ※より正確な役割分担を記載する	資金分配団体、実行団体のスタッフ 外部協力者(研究者、自治体職員等) ※より正確な役割分担を記載する	資金分配団体、実行団体のスタッフ 外部協力者(研究者、自治体職員等) ※より正確な役割分担を記載する	※追跡評価を希望する場合は記載
必要な調査	文献調査、フォーカスグループ、インタビュー、WS	フォーカスグループ、アンケート、観察、インタビュー	定量データ収集、インタビュー	※追跡評価を希望する場合は記載
評価関連経費	¥0	¥0	¥0	¥0
評価関連経費のうち 外部委託費	¥0	¥0	¥0	¥0
外部委託内容	課題の抽出調査	関係者インタビュー	データ収集	※追跡評価を希望する場合は記載
	指標やデータ収集方法の検討	フォーカスグループ・ファシリテーター	データ分析	
	関係者インタビュー	データ収集		

II. 評価スケジュール・実施体制

評価の要素	評価項目	評価小項目	評価基準		測定方法			評価時期 (複数可)
			判断方法 (指標など)	判断基準値 (目標値/状態など)	必要なデータ	情報源	データ収集方法	
課題の分析	①特定された課題の妥当性	課題の問題構造を十分に把握しているか (先行研究等、既存データのレビュー)	課題の要因に関する先行研究のレビューや諸要因の関係性の把握	(状態)先行研究等に照らして、課題を十分に把握できている	定性データ	先行研究・行政資料等	文献調査	事前評価
課題の分析	①特定された課題の妥当性	〃 (関係者からの情報収集)	課題の要因や特徴についての関係者との協議の回数や質	(状態)事業の関係者間で課題の要因に関する合意がほぼできている	定性データ	自治体の関係者や支援機関の関係者等	関係者インタビュー	事前評価
課題の分析	①特定された課題の妥当性	〃 (関係者からの情報収集)	課題の要因や特徴についての関係者との協議の回数や質	(状態)事業の関係者間で課題の要因に関する合意がほぼできている	定性データ	自治体の関係者や支援機関の関係者等	フォーカスグループディスカッション	事前評価
課題の分析	①特定された課題の妥当性	解決しようとする社会課題にはどのような解決の切迫性があるか (先行研究等、既存データのレビュー)	課題の切迫性に関する把握	(状態)先行研究等に照らして、課題の切迫性を十分に把握できている	定性データ	先行研究・行政資料・個別エピソード等	文献調査	事前評価
課題の分析	①特定された課題の妥当性	〃 (関係者からの情報収集)	課題の切迫性についての関係者との協議の回数や質	(状態)事業の関係者間で課題の切迫性に関する意識の共有がほぼできている	定性データ	自治体の関係者や支援機関の関係者等	関係者インタビュー	事前評価
課題の分析	①特定された課題の妥当性	〃 (関係者からの情報収集)	課題の切迫性についての関係者との協議の回数や質	(状態)事業の関係者間で課題の切迫性に関する意識の共有がほぼできている	定性データ	自治体の関係者や支援機関の関係者等	フォーカスグループディスカッション	事前評価

課題の分析	②特定された事業対象の妥当性	事業の対象グループの選定は適切か(対象、規模など)	直接的・間接的対象グループの数・属性	(状態)自団体の規模や事業後の展開の観点からほぼ適切といえる	定性データ	自組織、自治体の関係者や支援機関の関係者等	フォーカスグループディスカッション	事前評価
課題の分析	②特定された事業対象の妥当性	事業の対象グループはどのような問題・関心・期待・懸念などをもっているか	直接的・間接的対象グループの関心、期待等	(状態)事業の対象グループの関心や期待の把握が十分できている	定性データ	支援対象者(事業の受益者)の一部	関係者インタビュー	事前評価
課題の分析	②特定された事業対象の妥当性	〃	直接的・間接的対象グループの関心、期待等	(状態)事業の対象グループの関心や期待の把握が十分できている	定性データ	支援対象者(事業の受益者)の一部	フォーカスグループディスカッション	事前評価
事業設計の分析	③事業設計の妥当性	最終的に解決したい目標や中間的なアウトカムを達成するための事業設計はできているか	ToCの質	(状態)先行研究等に照らして、十分妥当な設計になっている	定性データ	先行研究・行政資料等	文献調査	事前評価
事業設計の分析	③事業設計の妥当性	〃	ToCの質	(状態)事業関係者が十分納得できる内容になっている	定性データ	自治体の関係者や支援機関の関係者等	ワークショップ	事前評価
事業設計の分析	③事業設計の妥当性	目標・アウトカムや事業設計の内容の達成状況・進捗状況を測定できるように具体的な指標を設定しているか	設定された指標の妥当性・適切性	(状態)指標が十分に妥当かつデータ収集可能なものになっている	定性データ	自治体の関係者、大学等の分野専門家等	関係者インタビュー	事前評価
事業設計の分析	④事業計画の妥当性	達成したい目標に対して妥当な活動内容が設定されているか	ToCの質	(状態)事業関係者が十分納得できる内容になっている	定性データ	自組織、自治体の関係者や支援機関の関係者等	フォーカスグループディスカッション	事前評価
事業設計の分析	④事業計画の妥当性	計画の妨げとなる事象が十分に検討され、それを軽減するための対策は検討されているか	資金分配団体POとJANPIAPO間で協議	(状態)事業関係者と合意できる	定性データ	自治体の関係者や支援機関の関係者等	フォーカスグループディスカッション	事前評価
実施状況の分析	⑤実施状況の適切性	活動内容は計画どおりに実施されているか	資金分配団体内で協議	(状態)事業関係者と合意できる	定性データ	自治体の関係者や支援機関の関係者等	フォーカスグループディスカッション	中間評価
実施状況の分析	⑤実施状況の適切性	実行団体による活動は計画どおりに実施されているか	①計画どおり、②やや計画どおり、③あまり計画どおりでない、④計画どおりでない、の4件法	(目標値)8割以上の実行団体が「計画どおり」と回答する	定量データ	実行団体のPO	アンケート調査	中間評価
実施状況の分析	⑤実施状況の適切性	〃	①計画どおり、②やや計画どおり、③あまり計画どおりでない、④計画どおりでない、の4件法	(状態)実行団体の活動が計画どおりに実施されている	定性データ	実行団体の活動	直接観察	中間評価
実施状況の分析	⑥知見の共有、活動の改善	事業を通して新たなアイデアが生まれたか	団体内の「気づき」の記録とそれをもとにした話し合い	(状態)何か1つでも新しいアイデアが実行されている	定性データ	自治体の関係者や支援機関の関係者等	その他	中間評価
実施状況の分析	⑥知見の共有、活動の改善	資金分配団体は実行団体からの先進的な活動を学ぶとともにその知見を広く共有できるように整理・蓄積しているか	(各実行団体の先進的な取り組みが)①共有されている～④共有されていない、の4件法	(目標値)8割以上の実行団体が「共有されている」と回答	定量データ	実行団体の関係者	アンケート調査	中間評価
実施状況の分析	⑦組織基盤の強化	総合的な判断として、実行団体の組織基盤はどの側面でどの程度強化されたか。それは何のためによるものと考えられるか	(実行団体の)財政状況、人材の育成状況、ネットワークの構築状況	(状態)8割以上の実行団体が十分といえる状況である	定性データ	実行団体の状況を観察及びインタビュー	直接観察	中間評価
実施状況の分析	⑦組織基盤の強化	包括的支援事業の在り方に関する知見や経験を蓄積する体制を整備しているか	資金分配団体内部の体制整備	(状態)十分に体制が整備されている	定性データ	理事または外部専門家に依頼	関係者インタビュー	中間評価

実施状況の分析	⑦組織基盤の強化	実行団体は取り組みを継続しているか。それにより事業で目指していた効果が継続して発現しているか	①規模を拡大して継続している、②現状維持で継続している、③規模を縮小して継続している、④継続していない、の4件法	(目標値)全ての実行団体が「継続している」と回答する	定量データ	実行団体のPO	アンケート調査	追跡評価
アウトカムの分析	⑧アウトカムの達成度	実行団体の事業をとおして資金分配団体が最終的に達成したいアウトカムは達成されたか	事業計画・中長期アウトカムの指標欄に設定した指標	(目標値)①地域のひきこもり者数〇人、②QOLの高いひきこもり者数〇人、③QOLの高い家族〇人、④復学者〇人、⑤復職or就職者〇人	定量データ	各実行団体の記録	定量データの収集	事後評価
アウトカムの分析	⑧アウトカムの達成度	〃	事業計画・中長期アウトカムの指標欄に設定した指標	(状態)⑥学校や企業の良い変化に関するエピソードがみられる	定性データ	実行団体の関係者	関係者インタビュー	事後評価
アウトカムの分析	⑧アウトカムの達成度	もたらされた変化は事業の実施に起因するものか	支援未実施地域の状況と比較(支援未実施地域の協力が必要)	(目標値)支援未実施地域の変化に比較して支援実施地域の良い変化が顕著である	定量データ	各実行団体の記録 支援未実施地域の統計	定量データの収集	事後評価
アウトカムの分析	⑧アウトカムの達成度	実行団体の事業をとおして資金分配団体が最終的に達成したいアウトカムは達成されたか	事業計画・中長期アウトカムの指標欄に設定した指標	(目標値)①地域のひきこもり者数〇人、②QOLの高いひきこもり者数〇人、③QOLの高い家族〇人、④復学者〇人、⑤復職or就職者〇人	定量データ	各実行団体の記録	定量データの収集	事後評価
アウトカムの分析	⑧アウトカムの達成度	〃	事業計画・中長期アウトカムの指標欄に設定した指標	(状態)⑥学校や企業の良い変化に関するエピソードがみられる	定性データ	実行団体のPO	関係者インタビュー	事後評価
アウトカムの分析	⑨波及効果	資金分配団体が対象とする地域や分野等を超えて、同様の手法による取り組みが始まる兆候が確認されたか	他団体による取り組み(準備も含む)の数	(状態)支援未実施地域で開始・準備された同様な事業の数	定量データ	未実施地域の担当者	関係者インタビュー	事後評価
アウトカムの分析	⑩事業の効率性	事業実施のためにインプットに対して成果の規模や質は妥当であったか	インプット(資金等)とアウトカムの比較	(状態)十分に許容できる比率	定量データ(収支報告と成果の状況を報告)	自組織の財務情報等	定量データの収集	事後評価